

平成16年度 事業報告

(財)一宮地場産業ファッションデザインセンター

理事会

- | | |
|----------------------|--|
| 平成16年4月26日
(書面議決) | ・ 役員の選任について |
| 平成16年5月20日 | ・ 役員の選任について
・ 理事長、副理事長及び専務理事の選任について
・ 平成15年度事業報告及び収支決算について
・ その他 |
| 平成16年8月10日
(書面議決) | ・ 管理及び運営に関する規程の一部改正について |
| 平成17年2月23日 | ・ 寄付行為の変更について
・ 運営からの一時離脱問題について
・ 平成16年度補正予算について
・ 平成17年度事業計画及び収支予算について |

運営会議

- | | |
|-----------|--|
| 平成16年4月5日 | ・ モノづくり支援部会
・ 人材育成部会
・ プロモーション部会 |
| 平成17年2月4日 | ・ 事業評価委員会
・ 事業企画委員会 |
| 平成17年2月8日 | ・ 事業運営委員会 |

PRODUCT

「売れる」ものづくり

1. 新商品開発事業

(1) 新テキスタイルの試作・開発

愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センターの協力により、複合技術、加工技術を工夫した製品の開発を行った。

- | | |
|----------|----|
| ・ 綿二重織物 | 1点 |
| ・ ウール二重織 | 1点 |
| ・ 麻二重織 | 1点 |

- ・綿ダブルニット 1点
- ・部分起毛織物 1点
- ・スクエア織物 1点

(2) FDC オリジナルの試作・開発

ヨーロッパの最新トレンド情報や海外マーケット情報等に基づき、「FDC 匠ネットワーク」グループにより、尾州産地ならではの意匠、技術を駆使したオリジナルテキスタイル50点を開発した。開発商品は平成16年10月20日・21日に開催された繊維総合見本市（ジャパン・クリエーション）JCプレビュー展と平成16年11月9日から11日までのFDC主催のJB（ジョイント・尾州）秋冬東京展に展示した。

- ・実施テーマ 産地固有技術を駆使したオリジナルテキスタイルの開発
- ・開発点数 50点

2. 新商品開発支援事業

糸の展示会「第2回ジャパン・ヤーン・フェア（JY）」を尾州で開催し、川上ヤーンメーカーと川中テキスタイルメーカーのコラボレーションチャンスの場とし、他にはない「モノづくり」を創出することにより産地の新たな活路の開拓を図った。

- 会期 平成17年2月2日（水）～4日（金）
- 出展者 紡績メーカー及び糸の取扱業者等42社
- 来場者数 3,045名

PERSON

マーケター養成(人材育成事業:特別会計)

1. マーケター養成等事業

(1) 創造的テキスタイルマーケター養成講座の開催

第2期創造的テキスタイルマーケター養成講座

IFIビジネススクールと提携し、テキスタイル産業等に従事する経営・営業幹部候補を対象に10回のカリキュラムにて「第2期創造的テキスタイルマーケター養成講座」を開催し、「わかる」ではなく「出来る」能力の醸成を図り、テキスタイルのマーケティングを計画しマネージメントをする専門家の養成を行った。

- ・期間 平成16年6月19日～平成17年3月5日
- ・受講者数 15名

事業戦略実行のための財務戦略立案講座

IFIビジネススクールと提携し、昨年度の創造的テキスタイルマーケター養成講座修了生を対象に、組織管理・人的資源管理と事業価値増大のためのキャッシュフロー経営に焦点を絞り4回のカリキュラムにより「財務戦略立案講座」を開催した。

- ・期 間 平成16年4月24日～平成16年7月17日
- ・受講者数 5名

(2) 川下への人材派遣

IFIビジネススクール主催「2004 エグゼクティブ・コース」参加者の受講料の一部を助成することにより、川下分野の業界・企業との交流促進を図った。

- ・派遣人数 2名

A・D・O(全日本デパートメントストア開発機構)本部主催「A・D・O産地研修」へ第1期講座修了生の中から3名を派遣し、百貨店業界との交流促進を図った。

- ・派遣人数 3名

2. 各種セミナー開催事業

(1) マーケットセミナー

と き 平成16年4月28日(水)

テーマ 「春夏婦人服市場の動向と今後」

講師 (株)伊勢丹新宿店MD統括部婦人第1営業部
商品担当部長 浅田 龍一 氏

テーマ 「2005Spring&Summer TEXTILE FORECAST」

講師 インターアイ 代表 富塚 晶子 氏

受講者 74名

と き 平成16年11月19日(金)

テーマ 「秋冬婦人服市場の動向と今後の見通し」

講師 (株)伊勢丹営業本部MD統括部婦人第1営業部
商品担当部長 浅田 龍一 氏

テーマ 「2005Autumun&Winter TEXTILE PREVIEW」
TRANSFORM・・・かわる質・感

講師 インターアイ 代表 富塚 晶子 氏

受講者 77名

(2) FDC特別セミナー

と き 平成16年10月14日(木)

テーマ 「05/06 秋冬ヨーロッパ素材展緊急報告」

講師 Studio・M 代表 諸橋 利枝 氏

受講者 42名

と き 平成16年10月22日(金)

テーマ 「2006 秋冬ヤーンコレクショントレンド」

「04/05 秋冬ヤーンコレクショントレンドレビュー」

講師 エクスポフィル・モード委員長 シルヴィー・テストマン 氏
受講者 32名

(3) 技術セミナー (テキスタイル技術、染色加工、アパレル技術、インテリア技術)
染色加工高度化セミナー

と き 平成16年10月22日(金)

テーマ 「繊維用機能加工剤について」

講師 日華化学(株)研究開発本部素材開発グループリーダー 林 正敏 氏

テーマ 「健康・快適インナーの新しい動きについて」

講師 グンゼ(株)メンズ & キッズカンパニー商品開発課長 小澤 七洋 氏

受講者 54名

羊毛ケラチン利用技術講習会

と き 平成16年6月18日(金)

テーマ 「羊毛由来タンパク質を原料とした医用材料への試み」

講師 愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター

テーマ 「バイオマテリアルとしての羊毛の利用」

講師 湘南工科大学 工学部教授 磯田 信生 氏

受講者 55名

テキスタイル技術講習会

と き 平成16年9月24日(金)

テーマ 「ナノファイバーテクノロジーを用いた繊維製品について」

講師 (有中法)日本繊維技術士センター 常務理事 八木 健吉 氏

テーマ 「ナノ加工と複合新素材について」

講師 日清紡績(株)商品開発センター主席研究員 傍嶋 光郎 氏

受講者 122名

アパレル技術セミナー

と き 平成16年11月26日(金)

テーマ 「中国生産動向と法的諸問題への対応」

講師 (株)ワコール品質保証推進部部長 上田 良行 氏

テーマ 「中国縫製工場の動向とウール製品の技術課題」

講師 ザ・ウールマークカンパニー アジア開発センター 顧問 堀 満夫 氏

受講者 71名

インテリア技術セミナー

と き 平成16年12月7日(火)

テーマ 『光触媒加工による「悪臭・汚れ成分の分解性能」』

講師 (株)信州セラミックス 代表取締役社長 桜田 司 氏

受講者 46名

織物技術講習会

と き 平成16年12月8日(水)

テーマ 「改質セルロース樹脂を用いた糸加工について」

講師 愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター

テーマ 「機能性レーヨン繊維について」

講師 オーミケンシ(株) 繊維統括事業部生産開発部 徳田 宏 氏

受講者 61名

(4) 学生向けセミナー

ユーロ・テキスタイル・セレクション展の開催に合わせて学生を対象にファッショントレンドの解説を行った。

と き 平成16年4月26日(月)・28日(水)

講師 ファッションコーディネーター 日比 つき子 氏

受講者 6校403名

と き 平成16年11月18日(木)・19日(金)

講師 ファッションコーディネーター 日比 つき子 氏

受講者 11校460名

(5) 新規採用者セミナー

繊維企業における新規採用者を対象に、繊維の基礎知識を2日間の集中講座で学ぶセミナーを開催した。

と き 平成16年5月26日(水)・27日(木)

テーマ 「素材と糸」「織物の知識」「ニットの知識」「染色の知識」

「仕上と加工」「縫製の知識」「繊維の試験」「施設見学」

受講者 63名

3. 新しい型の繊維産業構築支援事業

(1) 次世代型繊維産業構築のための支援

尾張繊維技術センターと共同で、産学官の連携、新分野進出(脱衣料)を目指した活動を積極的の支援を行った。

(2) テキスタイルプランナー育成

テキスタイルプランナーの交流・研鑽の場としての「FDC テキスタイルプランナー協議会」の組織・運営を行った。

グループ研究活動の実施

(ア)「環境・安全と快適・差別化」をキーワードにセルロース加工系とキトサン加工系を使った製品の試作を行った。

(イ)「夏に涼しい衣服」「シニア向けの質の高い衣料」をテーマにメンズアパレル関係者との共同開発を行った。

なお、両グループの研究結果については、平成17年5月18日から20日に開催する尾州テキスタイル・エキシビション会場において発表する。

(3) 各種活性化グループの支援

「FDC 匠ネットワーク」

同グループが行った、05/06秋冬及び06春夏のテキスタイル開発についてトレンド情報提供等を行い、商品開発の支援を行った。

「尾州房」

尾州テキスタイルを使用した販売用小物の試作開発を委託した。

開発商品 ・ジュエリートレイ
・スカーフ(風呂敷)

(4) 新ビジネスモデル構築の支援

国の川中繊維事業者自立事業に申請を希望される企業に対し、申請書作成についてコンサルティング業務を行った。

・申込企業数 14社

・業務回数 6回(平成16年4月7日から平成16年5月11日)

PROMOTION

ビジネスチャンスの創出

1. 東京展の開催

ファッション・ビジネスの中核機能をしめる東京市場において、自らがつくったものを自らの手で東京に売りに行くことを目的とし、ユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム、FDC 匠ネットワーク等がファッション・ビジネスの基本に立ち戻り本格的なモノづくりに取り組み、東京での展示会を開催及びJCプレビューへ出展し、販路開拓を行った。

JB(ジョイント・尾州)春夏東京展

会 期 平成16年6月15日(火)~17日(木)

会 場 青山ベルコモンズ(東京都港区)

内 容 ユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム開発素材160点

出展企業 13社
成 果 882名の来場 1,592点のリクエスト

J C プレビュー展

会 期 平成16年10月20日(水)・21日(木)
会 場 E B I S 3 0 3 (東京都渋谷区)
内 容 F D C 匠ネットワーク開発素材約50点の展示
成 果 36社から204点のリクエスト

J B (ジョイント・尾州) 秋冬東京展

会 期 平成16年11月9日(火)～11日(木)
会 場 青山ベルコモンズ(東京都港区)
内 容 ユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム開発素材167点、
F D C 匠ネットワーク開発素材50点の展示
出展企業 14社及び1グループ
成 果 1,074名の来場、5,435点のリクエスト

2. ユーロ・テキスタイル・セレクション展の開催

ネリーロディ社との提携によりヨーロッパ市場を中心に収集した2005春夏及び2005/2006秋冬トレンド・ファブリック、アパレルを尾州テキスタイル・エキシビション会場において展示し、トレンドポイントを確認した。

・2005春夏展

会 期 平成16年4月26日(月)～28日(水)
会 場 一宮地場産業ファッションデザインセンター
内 容 テキスタイル103点、アパレル8シルエットの展示
来場者 1,135名

・2005/2006秋冬展

会 期 平成16年11月17日(水)～19日(金)
会 場 一宮地場産業ファッションデザインセンター
内 容 テキスタイル101点、アパレル8シルエットの展示
来場者 1,740名

3. 尾州トータルイメージアップ活動の展開

(1) 月刊情報誌「テキスタイル&ファッション」の発行

尾州からの最新のファッション情報や先端技術情報の発信をめざし、見本帖とともに編集・発行を行った。

発行回数 12回(月刊)
発行部数 500部(各月)

(2) FDC戦略会議の開催

一宮商工会議所を中心として取りまとめられた「JB（ジョイント・尾州）ブランド構築事業」と連携し、尾州産地初の海外展示会をフランス・パリにおいて開催し、尾州産の織物及びニットをJBブランドとして世界にむけてアピールを行った。

会場 ルーヴル美術館内「モードと織物美術館ギャラリー」

会期 平成17年3月6日～8日

参加企業 16社・1グループ

展示 05/06秋冬生地70点

2006春夏生地165点及びアパレル4点

墨コレクション6点

来場者数 368名

(3) 広報活動事業

産地製品・センターの利用促進等を図るために、HP、情報誌等によりPRを行った。

尾張西部地域の地場産業のPRを図るため、地場産業支援機関ネットワーク(全国地場産業振興センター協議会)等を通じて地域のPRを行った。

繊維総合見本市「ジャパン・クリエーション2005」において、FDCの活動内容をPRするとともに、同見本市出展企業のPRを行った。

会期 平成16年12月1日(水)～3日(金)

場所 東京ビックサイト(東京都江東区)

4. 情報提供事業の再構築

(1) ファッション情報収集・提供事業(地域産業育成支援事業:特別会計)

海外情報の収集提供

・インポートメンズファブリックコレクションの作成

ライフスタイルやニーズの変化、マーケット情報、ファッション傾向等を調査・分析した結果によりマップを作成し、図書・情報加工室に展示・公開し利用者に情報を提供した。

2005/2006秋冬 41マップ

2006春夏 40マップ

トレンドアパレルの収集

秋冬アパレル 8シルエット

春夏アパレル 8シルエット

トレンド情報の普及

収集したアパレルや制作した資料などを図書・情報加工室に展示し、利用者に情報提供した。

(2) 内外ファッション関係資料提供事業

図書・雑誌等の収集

内外のファッション雑誌、テキスタイル見本帳、図書等の最新資料を収集し、図書・情報加工室、1階ロビーに展示・公開し利用者に情報を提供した。

ファッション映像情報の提供

世界の最新コレクションや「プルミエール・ヴィジョン」等、世界の素材展のレポート、売れ筋マーケット情報などの映像データを館内(1階ロビー)で放映した。

(3) ファッション・テクノ工房事業

各種情報の提供

ホームページにより事業内容、イベント情報等の発信を行った。

「ものづくり」のための支援

柄シミュレーションシステムを活用し織物の企画・試作の支援を行った。

(4) FDC トレンドファブリック収蔵展の開催

93・94年春夏トレンド収蔵生地・アパレルの展示と生地のカット

会 期 平成16年5月26日(水)～28日(金)

入場者 83社118名(内、30名カット)

93/94・94/95秋冬トレンド収蔵生地・アパレルの展示と生地のカット

会 期 平成17年1月24日(月)～26日(水)

入場者 75社126名(内、35名カット)

APPEAL

地域の魅力発掘

1. 地場製品の即売事業

1階常設展示場南側に設置してある24市町村コーナーの中に展示即売コーナーを設け地域地場産業の即売を行った。

全国の地場産業振興センターと連携して、民間Webサイト(例:雑誌ネット、乗換案内)を介して、センター及び地場産品等の紹介をし販路拡大やPRを計画中。

AMUSE

地域住民とのふれあい

1. 地域交流事業

(1) 手描き染教室

内 容	初心者	色見本作成、テーブルセンターの染色、藍染
	経験者	ハンカチによる色見本作成、絹ストールの柿渋染、マール染め

会 場 F D C

講 師 堀江染織研究所 富田 悦子氏 西岡 十三子氏

前 期

平成16年6月23日～7月28日、6日間（毎週水曜日）

参加者 25名

後 期

平成16年12月1日～平成17年1月19日、6日間（毎週水曜日）

参加者 17名

（2）手織教室

前期（木曜日）

内 容 初心者 マフラー

経験者 マフラーまたはクッションカバー、あるいはポシェット

講 師 手織知多木綿 駒澤 えつこ 氏 松田 小百合 氏

前 期

平成16年6月17日～7月22日、6日間（毎週木曜日）

会 場 稲沢市産業会館

参加者 23名

後 期

平成16年12月2日～平成17年1月20日、6日間（毎週木曜日）ト

会 場 津島地域文化広場

参加者 24名

（3）おやこふれあい教室の開催

と き 平成16年8月9日（日）

内 容 ウールについての学習、テキスタイル館の見学、体験手織、布を使ったお弁当作り

会 場 テキスタイル館、F D C

参加者 親子15組30名

講 師 テキスタイル館 館長 中野 幸治 氏、一宮布絵本の会

受 託 事 業

一宮市受託事業

1．産地製品の常設展示

メンズ及びレディース生地、インテリア織物、意匠撚糸、ニット製品などの産地製品や産地の服地を使用したアパレルを常設展示し、産地PRと販売促進を図っている。

展示替 平成16年8月2日（月）

秋冬物生地（紳士・婦人） 107点

ファンシーヤーン 47点

インテリア 24点

JTC2003入賞作品	8点
エクスポフィル賞	1点
アパレル	12シルエット
平成17年2月3日(木)	
春夏物生地(紳士・婦人)	98点
ファンシーヤーン	42点
インテリア	24点
JTC2004入賞作品	9点
アパレル	12シルエット

2. 地場製品の販売促進事業

ヨーロッパのテキスタイルデザイナーがトレンド情報に基づいて収集したファブリックやアパレル製品を調べ、それを用いて、地場製品の生産・販売促進を図った。

会期 平成16年4月26日(月)～28日(水)

内容 テキスタイル103点、アパレル8シルエットの展示

3. 展示会における産地製品のPR

JB(ジョイント・尾州)春夏東京展

平成16年6月15日(火)から17日(木)のJB(ジョイント・尾州)春夏東京展にユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム開発素材160点を展示した。

JCプレビュー展

平成16年10月20日(水)・21日(木)のEBS303で開催されたJCプレビュー展にFDC匠ネットワーク開発素材50点を展示した。

JB(ジョイント・尾州)秋冬東京展

平成16年11月9日(火)から11日(木)のJB(ジョイント・尾州)秋冬東京展にユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム及び一般参加企業の開発素材167点、FDC匠ネットワーク開発素材50点を展示した。

繊維見本市「ジャパン・クリエーション2005」

平成16年12月1日(水)から3日(金)の3日間、東京ビックサイトで開催されたジャパン・クリエーション2005において、FDCの活動とともに同見本市出展地元企業のPRを行った。